

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・尿・腎生検検体など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・尿・腎生検検体など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

小児特発性ネフローゼ症候群における SMPDL-3b の意義の解明

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院小児科

【研究責任者】 渡邊 祥二郎（愛媛大学大学院医学系研究科 小児科 助教）

### 【研究の目的】

過去に受診されたネフローゼ症候群や IgA 腎症など腎臓病の小児患者さんの血液、尿、腎生検検体を使わせていただき、病気の原因解明や治療方法の開発、診断方法の開発を目的とした研究を行うことといたしました。この研究は小児の腎臓病における有効な治療方法の開発に役立つことを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年4月から2024年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち腎臓病（ネフローゼ症候群、IgA 腎症、IgA 血管炎など）と診断された患者さん。また比較対象のため腎臓病以外の病気（全身性エリテマトーデスや若年性特発性関節炎などの膠原病疾患やクローン病など）の患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液・尿検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液・尿・腎生検検体など）

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**<試料・情報の管理責任者>**

愛媛大学医学部附属病院 小児科 渡邊 祥二郎

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院小児科 渡邊 祥二郎

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5320